

クリントートFXの効果確認試験



試験目的

クリントートFXの効果確認試験

試験作物
及び品種

水稻

試験資材
及び数量(規格)

クリントートFX(0.1mm×860cm×36m) 1枚

慣行資材

クリントートEX、クリントートDX

栽培方法

播種日

4月24日

資材使用期間

3月～6月

試験区面積

190㎡

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
慣行品と比較して差はなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
試験品の透明度は高かったが、慣行品との大きな差は感じられなかった。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について
【優位点】: 管理は慣行品と同じなので特に無いように思う。
【問題点】: 特に無いように思う。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について
使用上での差は感じられなかった。
- (5)促成・抑制効果について
試験品の透明度は高かったが、生育には差はなかった。
- (6)保温効果について
試験品の透明度は高かったが、生育には差がなかったことから保温効果についても差がないように思われる。
ただし、温湿度計での測定は行っていないため判然としない。

モニター感想

透明度の高い農POフィルムだという印象だが、苗の管理などは慣行品と変わらなかった。
生育についても、従来の農POフィルムと差は見られなかった。

JA担当者の感想(資材係 秋村 氏)

当JAではクリントートFXの普及が進んでおり、花の生産者をはじめ、高い透明度に対して評価を頂いている。
今後についても普及拡大を図っていきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
透明度は優れているように感じたが、2年目以降の状況も継続して検証していきたい。

将来希望する資材について

長期間、防滴効果が持続してくれるとありがたい。
金額的に普通の被覆資材との差がなく、カゲナシのように機能付きの被覆資材があれば良い。